

「大学等の施設の整備」の平成22年度概算要求にかかる見解

所管	文部科学省	概算要求額	49, 320百万円	前年度予算額	48, 320百万円
<p>施策概要</p> <p>○国立大学法人等の施設について、第3期科学技術基本計画を受け策定した「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画」(平成18～22年度)に基づき、整備を推進する。</p> <p>○また、独創的・先端的基礎研究の推進のため、大型研究設備の整備・高度化を図る。</p> <p>○国立大学法人等の施設は、優れた人材養成、創造的・先端的な研究開発、地域高度医療等を推進するために不可欠な基盤であることから、大学等の教育力・研究力を強化し、質の高い医療を提供するため、重点的・計画的な整備が必要。</p> <p>○また、独創的・先端的な研究を推進するための大型研究設備の整備・高度化を図ることが必要。</p> <p>○実施機関:国立大学法人等 ○施設整備:45,134 百万円 ○大型特別機械整備:4,186 百万円</p>					
総合的見解(原案)			総合的見解(最終決定)		
<p>○国立大学等の施設整備については、第3期科学技術基本計画において、卓越した研究拠点や人材育成機能を重視した基盤的施設について、老朽施設の再生を最優先として整備する観点から施設整備計画を策定して計画的に整備すること、大学附属病院について引き続き着実に計画的な整備を進めることとされており、大学等の教育力・研究力を強化し、質の高い医療を提供するためにも、本事業は極めて重要なものとして計画的・積極的に実施する必要がある。</p> <p>○平成22年度概算要求額は約490億円と前年度予算額と同程度であり、「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画」に基づき整備目標の達成に向けて、着実に推進すべきである。</p> <p>○世界一流の優れた人材の養成や創造的・先端的な学術研究を推進するためには、我が国の大学において、国際的にも魅力のある教育研究を実現し、大学の国際競争力を高めることが重要である。このため、大学の施設環境を国際的な水準の魅力あるものとしていくための整備を促進することが必要である。これを実現するため、平成22年度予算においては、その基盤となる教育研究施設・設備については、真に緊急性が高く最優先に実施すべき事業を精選するとともに、事業の実施に当たっては地球環境に配慮した取組を促進するなど、低炭素社会実現を意識した整備を一層推進しようとし、さらには、システム改革として、施設マネジメントに関する取組など</p>			<p>原案と同じ。 (相澤益男議員)</p>		

についても一層推進しようとしている点は、高く評価できる。
 ○平成22年度予算においては、第3期科学技術基本計画等で目指す、優れた人材の育成、イノベーション創出の基盤の整備の観点から、優先度の高い公共的施設・設備として、所要額の適切な措置が必要である。(相澤益男議員)

個別事項

事項名	概要	有識者議員コメント	見解(原案)	見解(最終決定)
教育研究基盤の再生分 概算要求額 44,048 百万円 (前年度予算額 43,545 百万円)	<p>○平成13～17年度の5か年間の第1次整備計画期間中において、老朽改善が当初計画の約半分にとどまったことを踏まえ、第2次整備計画においては、老朽施設の再生を最重要課題とした上で、人材養成機能を重視した基盤的施設及び卓越した研究拠点の整備を図る。</p> <p>・教育研究施設整備分 39,862 百万円 (前年度予算額 39,359 百万円)</p> <p>○大型研究設備については、世界最高水準の研究成果を持続的に生み出すために、計画的な整備・更新を図る。</p> <p>・大型研究設備の整備分 4,186 百万円 (前年度予算額 4,186 百万円)</p>	<p>○学生厚生の計画的整備が必要。留学生の寮の計画化が必要。これもキャンパス全体像のみならず、留学生30万人計画とも整合性を取って計画的に進めるべき。(本庶佑議員)</p> <p>○大学病院の施設整備は第1課題。(本庶佑議員)</p> <p>○この施設の重要性は明らか。但し、資源配分に際して、老朽化への対処と大学の教育研究パフォーマンス計画との連動と両方に目配りしてほしい。(白石隆議員)</p> <p>○他の分野との整合性を考慮して判断してほしい。(青木玲子議員)</p>	<p>○国立大学等における教育研究基盤施設の再生に向けて、耐震化等の老朽再生整備を最優先で行うこととしており、安全・安心な教育研究環境を確保し、優れた教育研究活動を展開するために極めて重要な施策である。</p> <p>○また、老朽施設を再生することにより建物・設備の高度化、多様化を図るとともに、若手研究者等が研究に専念できるような研究環境の整備、世界トップレベルの教育研究施設の整備等の視点を重視した整備を行い、世界に開かれた国際競争力のある教育研究基盤の強化を推進すべきである。</p> <p>○留学生の寮を含め、学生厚生関係施設についての計画的な整備も必要である。</p> <p>○さらに、各大学において学内施設を再生していく際には、全学的な視点に立った施設マネジメントの取組を徹底していくべきである。</p> <p>○国立大学等における独創的・先端的研究を推進する上で、研究設備の性能は、研究成果に大きな影響を及ぼすことから、世界最高水準の研究成果を持続的に生み出すためには、研究設備の整備・更新に必要な経費を安定的・継続的に措置す</p>	<p>原案と同じ。 (相澤益男議員) (榑原定征議員)</p>

			<p>べきである。(相澤益男議員)</p> <p>○老朽化対策は安全上も必須である。また最近の高度機器の共通使用のための施設や学際複合領域の研究教育の場を拡充する必要がある。(榎原定征議員)</p>	
<p>大学附属病院の再生分</p> <p>概算要求額 5,272 百万円 (前年度予算額 4,775 百万円) 〔他に、財政融資資金 38,992 百万円 (前年度予算額 37,683 百万円)〕</p>	<p>○大学附属病院については、財政融資資金を基本的財源(事業費の9割分を充て、病院収入により自己返済。残りについてのみ国費を充当。)とし、計画的に整備を行う。</p>		<p>○大学附属病院については、全国及び地域における先端医療の先駆的な役割が期待されるものであり、新しい診断方法や治療法の研究開発、専門性を有する質の高い医療の提供、将来の医療を担う質の高い医師の教育・養成などの機能を有している。</p> <p>○こうした役割、機能を有するにふさわしい病院となるよう、再開発整備を計画的に行う必要がある。なお、この整備にあたっては、病院の経営圧迫要因にならないような配慮が必要である。(相澤益男議員)</p>	<p>原案と同じ。 (相澤益男議員)</p>

※ 詳細な見解付けを行う対象施策の特性に合わせて、本様式を基本として柔軟に対応する